| | 申請者氏名 | | |
|--|-------|--------------|----------------|
| | 指導医氏名 | | |
| | | 自己 | 指導者 |
| 1、小児と保健医療 | | _ | _ |
| (1)我が国の小児保健・医療を説明できる。 | | | |
| (2)小児保健と小児歯科医療を説明できる。 | | \mathbf{H} | \mathbf{H} |
| (3)小児歯科医療における歯科医師の責務を説明できる。 (4)医療倫理を実践できる。 | | H | |
| (5)患者中心の歯科医療を実践できる。 | | H | |
| (0)心日中心の四中区派と入政ででも。 | | | |
| 2、成長·発達 | | | |
| (1)全身の成長・発達を説明できる。 | | | |
| (2)頭蓋・顎顔面の発育を説明できる。 | | | |
| (3)口腔機能の発育(摂食嚥下機能、発語・調音、顎運動)を説明できる。 | | Ш | |
| (4)歯の発育と萌出および異常を説明できる。 | | Н | |
| (5)歯列および咬合の発育と異常を説明できる。 | | \mathbf{H} | |
| (6)小児期の歯(乳歯、幼若永久歯)・歯周組織の特徴を説明できる。 | | | Ш |
| 3、診察・検査・治療計画 | | | |
| (1) 基本的な診察法を説明し、実践できる。 | | | |
| (2) 基本的な対応法を説明し、実践できる。 | | | |
| (3) 小児と保護者へのコミュニケーション技法を適切に使うことができる。 | | | |
| (4) 診察・検査を説明し、実践できる。 | | Ш | |
| (5) 適切な診断ができる。 | | Н | |
| (6) 治療と定期検診の計画が立案できる。 | | H | |
| (7) 小児と保護者に病状および治療計画を解り易く説明できる。 | | | ш |
| 4、小児期の歯・口腔の疾患 | | | |
| (1) 齲蝕(乳歯、幼若永久歯)について説明できる。 | | | |
| (2) 齲蝕(乳歯、幼若永久歯)の予防を説明し、実践できる。 | | Ш | |
| (3) 齲蝕治療の前処置を説明し、実践できる。 | | | |
| (4) 乳歯、幼若永久歯の歯冠修復法を説明し、実践できる。 | | Ш | |
| (5) 乳歯、幼若永久歯の歯内療法を説明し、実践できる。 | | \mathbf{H} | |
| (6) 小児期の歯周疾患の分類と罹患状況を説明できる。 | | | |
| (7) 小児期の歯周疾患の種類と特徴を説明できる。 (8) 小児期の歯周疾患の予防を説明し、実践できる。 | | H | |
| (8) 小児期の歯周疾患の予防を説明し、美践できる。 (9) 小児期の歯の外傷の状況と損傷の影響を説明できる。 | | | |
| (10)小児期の外傷の診察・検査を説明し、実践できる。 | | H | H |
| (11)小児期の歯の外傷の処置と経過を説明し、実践できる。 | | | |
| (12)学校と口腔外傷を説明できる。 | | | |
| (13)スポーツ外傷と予防を説明できる。 | | | |
| (14)小児期の外傷の予防を説明できる。 | | | |
| (15)小児期の口腔軟組織疾患を説明できる。 | | | |
| (16)小児期の顎疾患を説明できる。 | | Щ | |
| (17)小児期の顎関節症を説明できる。 | | Щ | |
| (19)乳歯の抜歯を実践できる。 | | | |
| (20)小帯口腔粘膜の病変を説明できる。 | | \vdash | \blacksquare |
| (21)裂傷の処置、縫合を説明し、実践できる。 (22)簡単な小毛供を実践できる。 | | \square | \mathbf{H} |
| (22)簡単な小手術を実践できる。 (23)埋伏過剰歯の抜歯ができる。 | | \vdash | \blacksquare |
| (23) 垤仏週剰圏の扱圏ができる。 (24) 小児の薬理的特性と薬物療法を説明できる。 | | | |
| | | | |

| (25)小児への投与を控える薬剤を説明できる。 (26)咬合誘導の考え方を説明できる。 (27)歯列・咬合の正常発育を阻害する因子を説明できる。 (28)口腔習癖と対応を説明し、実践できる。 (29)症例分析を説明し、実践できる。 (30)保隙を説明し、実践できる。 (31)動的咬合誘導を説明し、実践できる。 | |
|--|--|
| 5、健康教育・口腔保健 (1) 保健指導を説明し、実践できる。 (2) 乳幼児の口腔保健を説明し、実践できる。 (3) 学校歯科保健を説明し、実践できる。 (4) 思春期の口腔保健を説明し、実践できる。 (5) 児童虐待を説明できる。 (6) 災害と小児歯科保健・医療を説明し、実践できる。 | |
| 6、医療安全 (1) 医療安全の考え方を説明できる。 (2) ヒヤリハットと医療事故について説明できる。 (3) 医療安全管理体制について説明できる。 (4) 小児歯科医療における安全管理について説明できる。 (5) 小児歯科医療における医療安全に配慮することができる。 (6) 小児歯科医療における感染予防について説明できる。 (7) スタンダードプリコーション(標準予防策)が実践できる。 | |
| 7、障がい児及び有病児への歯科的対応 (1) 障がい児の歯科治療を説明し、実践できる。 (2) 障害の概念・分類を説明できる。 (3) 障害の福祉・医療を説明できる。 (4) 障害児の口腔健康管理を説明し、実践できる。 (5) 障害児の歯科的対応を説明し、実践できる。 (6) 障害児の歯科医療の留意事項を説明できる。 (7) 障害の種類と口腔所見を説明できる。 (8) 有病児の歯科治療を説明し、実践できる。 (9) 先天疾患を説明できる。 (10) 感染症を説明できる。 (10) 感染症を説明できる。 (11) 内分泌疾患を説明できる。 (12) 血液・造血器疾患を説明できる。 (13)代謝障害を説明できる。 (14)腎疾患を説明できる。 (15)循環器疾患を説明できる。 (16)呼吸器疾患を説明できる。 (17)免疫アレルギー疾患を説明できる。 | |